



品川東海寺中定惠院什物
寶雲寺殿御劔之圖

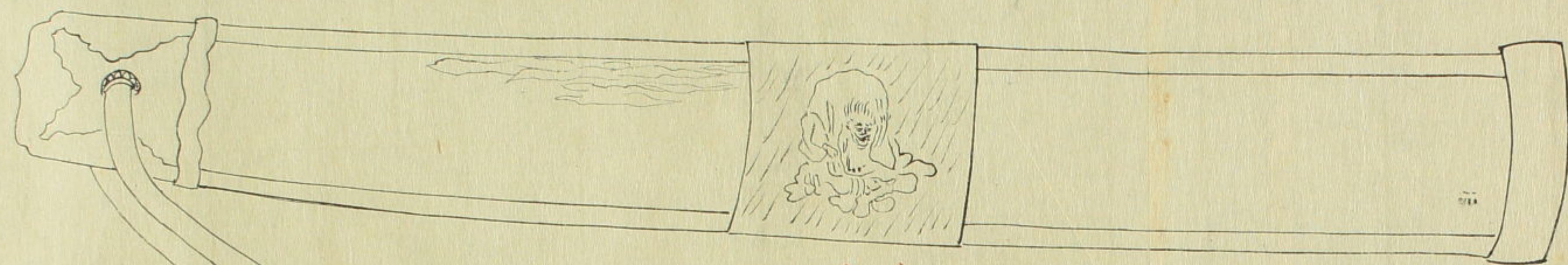
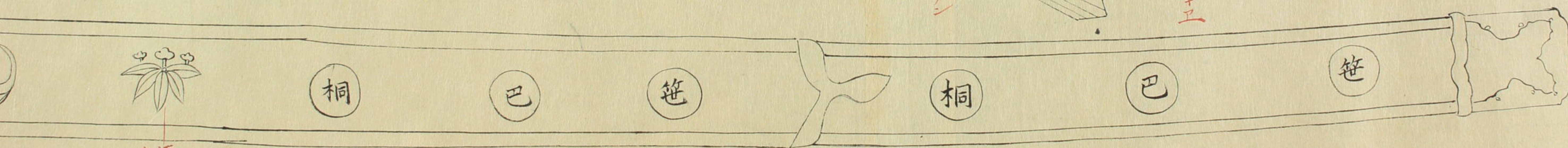


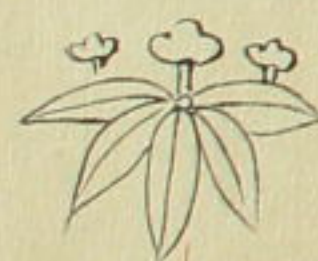
表 風伯
裏 雷公

梨地マキ工

金フシ



惣金物メツキ



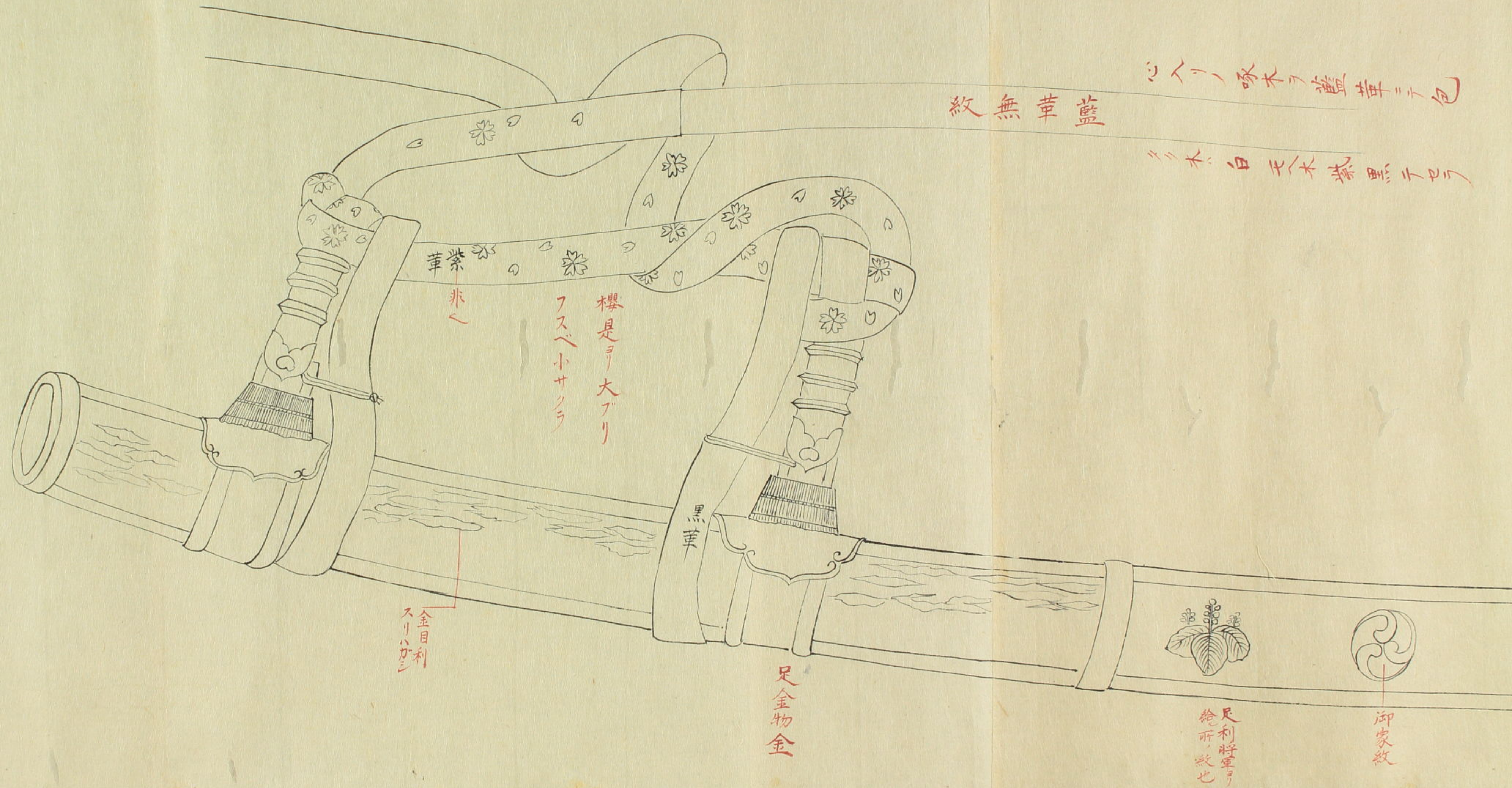
源家相承
紋



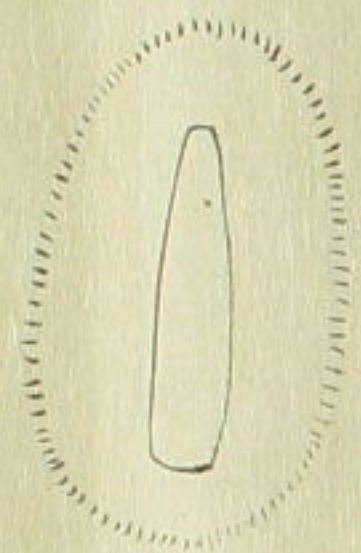
心へり、啄木ヲ藍草ニテ包

藍革無紋

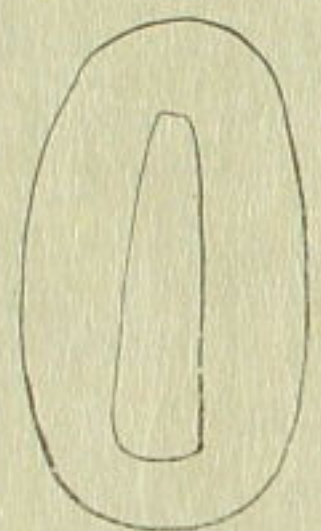
クク木。白。天。木。紫。黒。子。セウ



ハ、キ
銀左巴金焼付



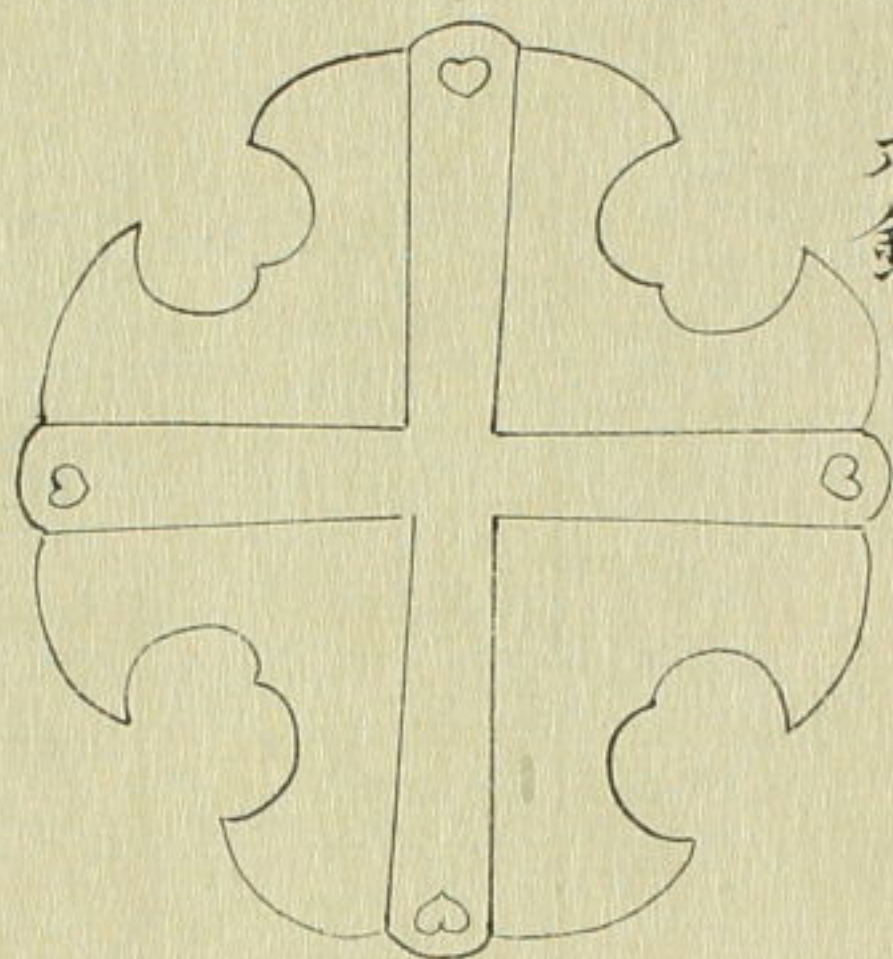
一 銀



二 赤銅

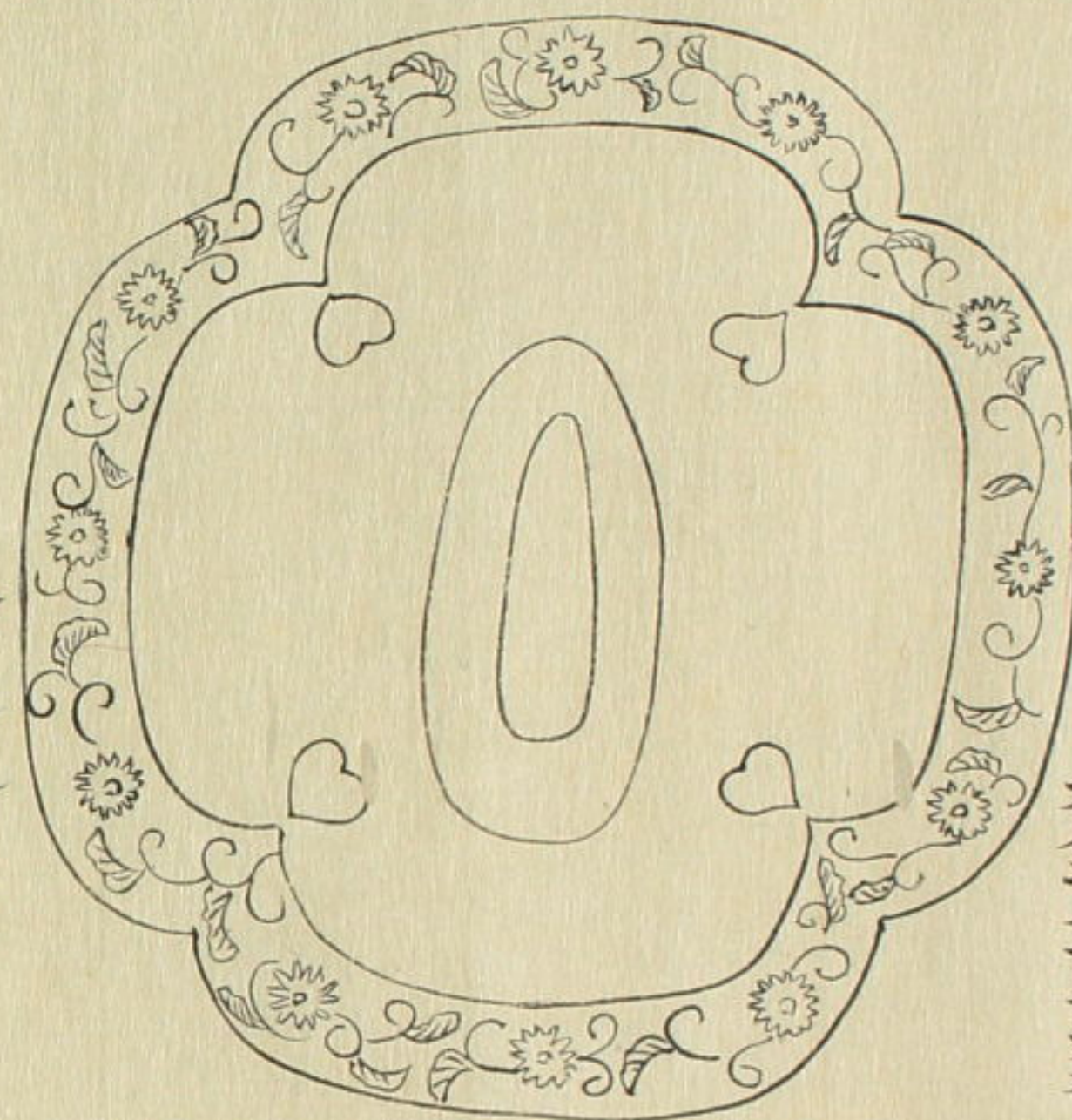


三 金



赤銅

金象眼唐草



九赤銅八重菊

○大和寺波斗安行

ハ、キ
銀左巴金焼付

享保二年丙酉 月日從赤松信濃守殿則恭所被納也
信濃守殿日光奉行初石野八兵衛依本苗家名改六松
享保四年十二月六日隱居當時赤松式部殿御先祖也

梅室雲寺殿赤松次郎入道則村法名月潭圓心
觀應元年庚寅正月十三日逝去目利書云安行ハ波平
行安二男薩摩國谷山郡住正和比サ才與右衛門ト云
三ノタリ大和守安行ト云同人歛追而可尋正和元年ヨリ
三十九年後觀應元年トハ時代附合

寛政土巳未年八月
筑後久留米家臣
松岡平次郎辰方

右長覆輪太刀ハ定惠院所藏ニ毎歲七月
七日赤松家ノ役人立會風入ノ儀アリ僧ニ
約ノ文化七年本日辰方先生ト同ク彼院ニ
詣熟視スルヲ得タリ此時雙文案高ク圖ニ
校合シ朱書ヲ加テ文庫ニ藏セシヲ予今又
展觀ニ感餘アリ因莫予之云

文化九年十月九日夜
慶士ハ幡与一重

右長覆輪太刀ハ定惠院所蔵ニ毎歲七月
七日志松家ノ役人立會風入ノ儀アリ僧
約ノ文化七年本日辰方先生ト同ノ彼院ニ
詣熟視スルヲ得タリ此時雙窓亭ノ図ニ
校合シ朱書ヲ加テ文庫ニ蔵セシヲ予今又
展觀ノ感餘アリ因莫予之云

文化九年十月九日夜

慶士ハ幡与一重也





3645
245

寶雲寺歸劍之圖

保子
2645
245
247



品川東海寺中定惠院什物

寶雲寺殿御劍之圖

8 9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3 4 5

御製詩經傳義卷八
路三

73
3645
245